

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県綾歌郡綾川町羽床上527番地1

氏 名 テーブルマーク株式会社 綾上工場

工場長 篠原 篤

電話番号 087-878-1700

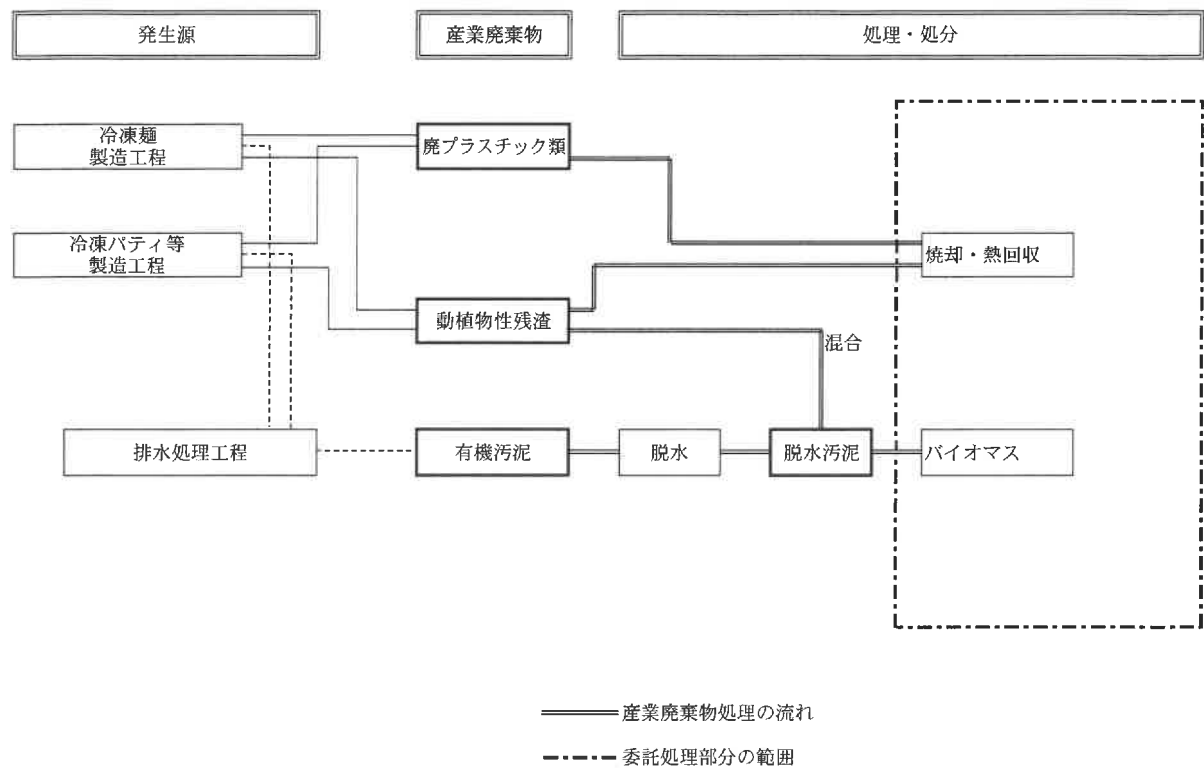


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	テーブルマーク株式会社 綾上工場
事業場の所在地	香川県綾歌郡綾川町羽床上527番地1
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	製造高 3798.6百万円(2023年度)
③ 従業員数	80名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

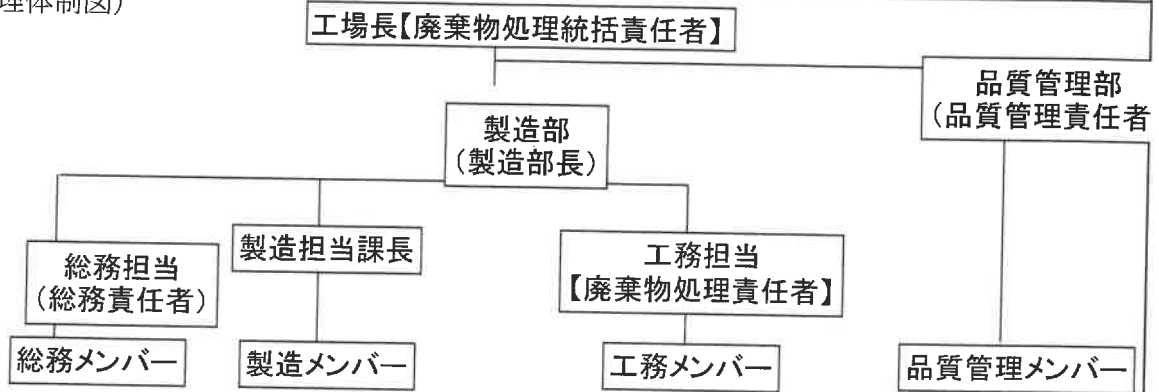
当該事業場において現に行っている事業に関する事項（第1面関係別紙）

④産業廃棄物の一連 の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 【前年度(2023年度)実績】

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類				
排出量	365.69	169.46	45.057				

(これまでに実施した取組)

- ・製造工程でのロス削減し、動植物性残渣、廃プラスチック類の発生抑制を行ってきた。
- ・清掃業者との打ち合わせ、指導により排水処理工程への残渣流入を減少させた。
- ・排水処理薬剤変更により有機汚泥の凝集率を向上させた。

②計画

【目標】

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類				
排出量	329.12	152.51	40.55				

(今後実施する予定の取組)

- ・製造工程でのロス削減し動植物性残渣の発生を抑制する。
- ・動植物性残渣の分別に従業員全員で行い、発生抑制につなげる
- ・下水放流量を増やすことによりスカムの除去率、余剰汚泥を減少させる。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・動物性残渣については分別し、家畜の飼料にしている。
- ・廃プラスチックに関しても分別し、PE、PPは再利用業者へ引き渡している

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・動物性残渣や廃プラスチック類の再成利用がよりできるよう分別をさらに強化し、ゼロミッションを目指す。
- ・原料由来廃プラスチックが増加しているため、水切、分別で減量化を行う。

单位:t

①現状

单位:t

①現状

②計画

单位:t

①現状

单位:t

①現状

【目標】		単位:t					
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類			
	全処理委託量	263.30	122.01	32.44			
	優良認定処理業者への処理	0	0	0			
	再生利用業者への処理委託	263.30	103.47	0			
	認定熱回収業者への処理委託	0	0	0			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	18.55	32.44			
(今後実施する予定の取組) ・分別をより強化し再生利用業者や有価買取業者への委託割合を増やし、産業廃棄物処理委託量の削減を図る。							
※事務処理欄							